

大気汚染防止法

一般粉じん発生施設

設置（使用、変更）届出書 記載例

－ 設置届（使用届） 編 －

【注意】

- ・ 本記載例は、記載方法の一例を示したものです。
施設の仕様等によっては、記載事項の修正を求める場合があります。
- ・ 実際に届出をする際は、事前に御相談ください。
- ・ 提出部数は、正副2部となります。
- ・ 届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、設置のための行為（工事着手等）ができません。提出期日に御注意ください。
- ・ 手続きが遅延した場合、「遅延理由書」等を添付していただく場合があります。

※本記載例は、一般粉じん発生施設の設置届（または使用届）に関する一例です。

※使用届について

既に設置済の施設が、法改正によって新たに一般粉じん発生施設になった場合は設置届ではなく、使用届として届出を提出します。

平塚市 環境部 環境保全課
(最終更新：令和6年12月)

①
一般粉じん発生施設設置~~（使用、変更）~~届出書

②
令和〇年 〇月 〇日

平塚市長 殿

③
住 所 神奈川県平塚市〇〇町 1 - 1

届出者 名称及び 〇〇工業株式会社
代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

電話番号 XXXX-XX-XXXX

①
大気汚染防止法第 18 条第 1 項~~（第 18 条第 3 項、第 18 条の 2 第 1 項）~~の規定により、
一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

④	工 場 又 は 事業場の名称	〇〇工業株式会社 平塚工場	※整 理 番 号	
⑤	工 場 又 は 事業場の所在地	平塚市〇〇町×-×	※受理年月日	年 月 日
⑥	一般粉じん発生 施設の種類	3. バケットコンベア (1 台) 4. 破砕機 (1 台)	※施 設 番 号	
	一般粉じん発生施 設の構造並びに使用 及び管理の方法	別紙 1 から別紙 4 のとおり。	※審 査 結 果	
			※備 考	

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 2 に掲げる
項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を
対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本
産業規格 A 4 とすること。

記載の流れ（様式第3）

① 届出の名称、根拠条文等の選択

届け出る内容に該当しない字句は、削除せず二重取消線で抹消します。

・設置・使用・変更と条項の対応

--- 設置：第18条第1項、 使用：第18条第3項、
 変更：第18条の2第1項

② 届出日

市に提出し、正式に受理された日の日付を記載します。

内容に不備がある場合には受理できない可能性がありますので、
空欄のまま窓口に持参しても問題ありません。

③ 届出者情報

氏名、住所及び電話番号を記載します。

法人にあっては、工場又は事業場の管理責任を負う代表者（代表取締役や工場長など）が所属する住所、社名及び代表者の職氏名を記載します。

④ 工場又は事業場の名称

届出施設を設置している工場又は事業場の名称を記載します。

⑤ 工場又は事業場の所在地

届出施設を設置している工場又は事業場の所在地を記載します。

地番から住居表示に改めた場合も含め、前回の届出内容から変更がある場合には、こちらの届出の前に、所在地変更に関する「氏名等変更届」の提出が必要です。

⑥ 一般粉じん発生施設の種類及び台数

今回届出する一般粉じん排出施設について、大気汚染防止法施行令別表第二に掲げる項番号・施設名称とその台数を記載します。

※このページでは、「バケットコンベア 1台、破砕機 1台の設置」として記載しています。

一般粉じん発生施設（コークス炉）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		コークス炉 No. 1	①
名称及び型式		〇〇(株)製 〇〇式コークス炉	②
設置	年 月 日	年 月 日	③
着手予定	年 月 日	令和〇年 〇月 〇日	
使用開始予定	年 月 日	令和〇年 〇月 〇日	
規模	原料の処理能力 (t/日)	150	④
	炉室数	10	
	炭化時間 (h)	20	
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	湿式集塵装置 XX-XXX-X	⑤
	集じん機効率 (%)	80	
	送風機の原動機出力 (kW)	30	
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	遠心集塵装置 XX-0000 型	⑥
	集じん機効率 (%)	95	
	送風機の原動機出力 (kW)	300	
消火作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇式スプレーガン ■ ■ 型	⑦
参考事項	ガイド車炉床強度：〇〇 ガイド車軌条幅員：〇〇		⑧

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
- ⑨ 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記載の流れ（別紙１）

※別紙１は、コークス炉について届出する場合に添付します。

※今回は、コークス炉を１台設置する場合の例です。

※３台以上の届出で列が不足する場合は、複数枚に分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

工場又は事業場で用いている施設の名称を記載します。

複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 名称及び型式

具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。

③ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。

工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。

【手続遅延の場合の注意】３か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

④ 規模

設置するコークス炉の規模能力について記載します。

⑤ 装炭作業

装炭作業時に発生する粉じんの処理方法について記載します。

⑥ 窯出し作業

窯出し作業時に発生する粉じんの処理方法について記載します。。

⑦ 消火作業

消火作業時に発生する粉じんの処理方法について記載します。

⑧ 参考事項

備考のとおり、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載します。

⑩ 構造図

備考のとおり、一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付します。

※ ばい煙発生施設としての届出について

原料の処理能力が、20t/日以上であるコークス炉は、ばい煙発生施設に該当するため、別途「ばい煙発生施設設置届出書」の提出も必要となります。

一般粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		貯蔵区画（北 1）		①	
名 称 及 び 型 式		骨材置場（引出し式）		②	
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	③	
着 手 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	年 月 日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	年 月 日		
規 模	面 積 (m ²)	1,200		④	
	堆 積 能 力 (t)	8,000			
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量 (t/年)		川砂、砂利 (水分:〇%程度) 700t/年		⑤	
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要			⑥	
	散 水	装 置 の 種 類・型 式・基 数	スプリンクラー 〇台		
		装 置 の 能 力 (m ³ /h)	5 m ³ /h (1 台当たり)		
		散 水 の 方 法	搬入時		
	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況		全面に設置 (添付〇のとおり)		
	薬 液 散 布	薬 液 の 種 類・名 称			
		装 置 の 種 類・型 式・基 数			
		装 置 の 能 力 (m ³ /h)			
		散 布 の 方 法			
	締 固 め	装 置 の 種 類・型 式			
		方 法			
	そ の 他	方 法	適時、手作業で場内散水		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
- 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（たとえば散水の場合は水量 1/t）、実施頻度等を記載すること。
- 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- ⑦ 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記載の流れ（別紙２）

※別紙２は、**鉱物又は土石の堆積場**について届出する場合に添付します。

※今回は、堆積場を１か所設置する場合の例です。

※３か所以上の届出で列が不足する場合は、複数枚に分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

工場又は事業場で用いている施設の名称を記載します。

複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 名称及び型式

具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。

③ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。

工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。

【手続遅延の場合の注意】３か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

④ 規模

設置する堆積場の規模能力（面積、堆積可能量）について記載します。

⑤ 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量

堆積場で管理する堆積物について、堆積物の比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載します。

⑥ 使用及び管理の方法

設置する堆積場において、該当する管理方法を記載します。

・堆積場がその中に設置されている建築物の概要

堆積場が屋内にある場合、堆積場を設置している建屋の図面を添付します。
記入欄には、図面の添付番号を記載します。

・散水、薬液散布

堆積場に設置した散水装置（薬液散布装置）の概要及び散水の方法、頻度等を記載します。

・防じんカバーの設置状況

粉じんの飛散防止のために防じんカバーを設置している場合は、その概要を記載します。

・締固め

堆積場で締固めの作業を行う場合は、使用する装置と作業方法の概要を記載します。

・その他

備考のとおり、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載します。

⑦ 構造図

備考のとおり、一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付します。

一般粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		ベルトコンベア No. 1	バケットコンベア No. 1	①	
名称及び型式		ベルトコンベア 〇〇(株)特注品	バケットコンベア 〇〇(株)特注品	②	
設置年月日		年 月 日	年 月 日	③	
着手予定年月日		令和〇年 〇月 〇日	令和〇年 〇月 〇日		
使用開始予定年月日		令和〇年 〇月 〇日	令和〇年 〇月 〇日		
規模	ベルト幅 (cm) 又は バケット内容積 (m ³)	85 cm	0.05 m ³	④	
	単基の長さ (m) × 基数	〇〇 m * 〇基 〇 m * 〇基	〇〇 m * 〇基		
	ベルト又はバケットの速度 (m/分)	40	15		
	運搬能力 (t/h)	10	30		
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/月)		川砂、砂利 100t/月	石灰石 150t/月	⑤	
使用 及び 管理 の 方法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		鉄骨造平屋建 (添付〇のとおり)	⑥	
	集じん機	集じん機の種類・型式	〇〇社製 バグフィルター		
		集じん機効率 (%)	95		
		送風機の原動機出力 (kW)	400		
	散水	装置の種類・型式	スプリンクラー (5 台)		
		装置の能力 (m ³ /h)	0.8 (1 台当たり)		
		運搬量当たり散水量 (l/t)	10		
	防じんカバーの設置状況				
	その他	方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- ⑦ 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記載の流れ（別紙３）

※別紙３は、ベルトコンベア、バケットコンベアについて届出する場合に添付します。

※今回は、ベルトコンベア１台、バケットコンベア１台を設置する場合の例です。

※３か所以上の届出で列が不足する場合は、複数枚に分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

工場又は事業場で用いている施設の名称を記載します。
複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 名称及び型式

具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。

③ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。
工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。
【手続遅延の場合の注意】３か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

④ 規模

設置する施設の規模能力（寸法、運搬能力等）について記載します。

⑤ 運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量

施設の運搬物について、概要を記載します。

⑥ 使用及び管理の方法

設置する施設において、該当する管理方法を記載します。

・コンベアがその中に設置されている建築物の概要

施設が屋内にある場合、施設を設置している建屋の図面を添付します。
記入欄には、図面の添付番号を記載します。

・集じん機、散水

集じん機、散水施設により飛散防止を行う場合には、設置した設備の概要及び使用方法を記載します。

・防じんカバーの設置状況

粉じんの飛散防止のために防じんカバーを設置している場合は、その概要を記載します。

・その他

備考のとおり、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載します。

⑦ 構造図

備考のとおり、一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付します。

一般粉じん発生施設（破砕機、摩砕機、ふるい）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		破砕機 1 号機	分級機 No. 1	①	
名 称 及 び 型 式		〇〇(株)製 インパクトクラッシャー XX-VVVV	〇〇社製 〇式分級機	②	
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	③	
着 手 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	令和〇年 〇月 〇日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		令和〇年 〇月 〇日	令和〇年 〇月 〇日		
規 模	原 動 機 の 定 格 出 力 (kW)	75	100	④	
	処 理 能 力 (t/h)	80	150		
処理対象物の種類及び通常の月間処理量 (通常) (t/月)		コンクリート塊 10,000	砕石 (コンクリート) 10,000	⑤	
使用及び管理の方法	破砕機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要		鉄骨造建屋 工場棟 (添付〇のとおり)	⑥	
	集じん機	集 じ ん 機 の 種 類・型 式			(株)〇〇製 バグフィルター
		集 じ ん 機 効 率 (%)			98
		送 風 機 の 原 動 機 出 力 (kW)			75
	散 水	装 置 の 種 類・型 式			
		装 置 の 能 力 (m³/h)			
		処理量当たり散水量 (l/t)			
	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況				
	そ の 他	方 法			

備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。

⑦ 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

記載の流れ（別紙４）

※別紙４は、**破砕機、磨砕機、ふるい**について届出する場合に添付します。

※今回は、破砕機１台、ふるい１台を設置する場合の例です。

※３か所以上の届出で列が不足する場合は、複数枚に分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

工場又は事業場で用いている施設の名称を記載します。

複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 名称及び型式

具体的な装置の名称・型番、製造会社名等を記載します。

③ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。

工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。

【手続遅延の場合の注意】３か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

④ 規模

設置する施設の規模能力（出力、能力）について記載します。

⑤ 処理対象物の種類及び通常の間処理量

施設で処理する素材について、概要を記載します。

⑥ 使用及び管理の方法

設置する堆積場において、該当する管理方法を記載します。

・破砕機、磨砕機又はふるいがある中に設置されている建築物の概要

施設が屋内にある場合、施設を設置している建屋の図面を添付します。

記入欄には、図面の添付番号を記載します。

・集じん機、散水

集じん機、散水施設により飛散防止を行う場合には、設置した設備の概要及び使用方法を記載します。

・防じんカバーの設置状況

粉じんの飛散防止のために防じんカバーを設置している場合は、その概要を記載します。

・その他

備考のとおり、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載します。

⑦ 構造図

備考のとおり、一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付します。

添付書類一覧

内容		添付番号
1	事業所案内図	添付○
2	一般粉じん発生施設及び処理又は防止のための装置の設置場所	添付○ ①
3	一般粉じん発生施設に係る資料 (配置図、平面図、立面図、構造図、仕様書、カタログ等)	添付○ ②
4	一般粉じんの処理又は防止のための装置に係る資料 (配置図、平面図、立面図、構造図、仕様書、カタログ等)	添付○ ③
5	一般粉じん発生施設及び処理に係る操業の系統の概要	添付○ ④
6	緊急連絡用の電話番号及び緊急時における連絡体制	添付○ ⑤

参考事項 ⑥

資本金	円	従業員数	
主要製品		操業時間	時 ～ 時
用途地域		敷地面積	m ²
		建物面積	m ²
届出担当者	住所	〒	
	名称		
	部署・担当者名		
	電話番号		
他法令等による許可・届出の状況	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	不要・未了・完了	
	水質汚濁防止法	不要・未了・完了	
	騒音規制法	不要・未了・完了	

記載の流れ（添付書類一覧）

- ① 一般粉じん発生施設及び処理又は防止のための装置の設置場所
一般粉じん発生施設と、発生した粉じんの処理施設について、位置が分かる平面図を添付します。配置図には、方位を記載します。
- ② 一般粉じん発生施設に係る資料
一般粉じん発生施設の構造図やカタログ等を添付します。
構造図には、主要寸法を記載します。
- ③ 一般粉じんの処理又は防止のための装置に係る資料
処理施設の構造図等を添付します。
※処理施設がない場合は、この欄には記載不要です。
- ④ 一般粉じん発生施設及び処理に係る操業の系統の概要
事業所の操業の系統のうち、対象の施設が関係する一系統について、操業の系統図（フローチャート等）を添付して示します。
- ⑤ 緊急連絡用の電話番号及び緊急時における連絡体制
事故等が発生した際の連絡体制について、連絡網等を添付します。
※部署名等で記載し、個人名や個人の連絡先等は削除してください。
- ⑥ 参考事項
工場又は事業場に関する概要を記載します。